



AZUMINO PUBLIC LIBRARY 安曇野市図書館

図書館映画上映会 (入場無料)

「小澤征爾」インタビュー
～西洋音楽と格闘した半世紀～
2010年 日本 上映時間 110分

- 日時 9日(金) 開場 18:30 上映 19:00～
場所 穂高交流学习センター「みらい」多目的交流ホール

えほんとうぞうのじかん
中央図書館 ●日時 14日(水) 16:15～
●場所 中央図書館 おはなしのへや

おりがみの部屋
堀金図書館 ●日時 28日(水) 16:15～
●場所 堀金図書館 児童コーナー

ドキドキ・ワクワクお話の世界
中央図書館 おはなしのとびら
中央図書館おはなしのへや
7・14・21日(各水曜日) 10:30～(乳幼児対象)

中央図書館 おはなしとしゃかん
中央図書館おはなしのへや
17日(土) 10:30～(乳幼児対象)
11:20～(幼児以上対象)

豊科図書館 ちいさいたんぼぼ
豊科図書館多目的室
23日(金) 11:00～(乳幼児対象)

豊科図書館 おはなしたんぼぼ
豊科図書館多目的室
23日(金) 16:30～(幼児以上対象)

堀金図書館 おはなしのへや
堀金図書館児童コーナー
20日(火) 10:30～(乳幼児対象)
20日(火) 16:20～(幼児以上対象)

明科図書館 ひまわり夏のおはなし会
明科子どもと大人の交流学習施設「ひまわり」ハーモニーホール
24日(土) 11:00～(乳幼児以上対象)

あづみ野ガラス工房
「夏休み特別体験」

あづみ野ガラス工房
TEL 72・8030

家族で物を作る喜びを味わい、夏休みの楽しい思い出を作りましょう。

日時 8月1日(木)～18日(日)

午前9時～午後0時30分
午後1時30分～4時

場所 あづみ野ガラス工房前 屋外テント

体験内容

《風鈴作り体験》風鈴の傘の部分にリユーターという道具で絵柄を彫り、パーツを組み上げてオリジナル風鈴を作ります。

《リユーター体験》グラス、ペーパーウェイトなどから一つを選び、リユーターでガラスに絵柄を彫ります。

《小物作り体験》ガラスの小瓶、フォトフレーム、バレッタなどから一つを選び、色ガラスチップを張り合わせ、世界に一つだけの作品を作ります。

参加費 風鈴作り体験 2310円
リユーター体験 1260円
小物作り体験 1575円
※参加は当日、受け付けます。

碌山美術館・研成ホール
美術講座

碌山公園研成ホールTEL 82・0769
碌山美術館TEL 82・2094

碌山美術館「粘土に親しむ」
テラコッタ粘土による自由な制作を行う講座です。

日時 8月1日(木)、2日(金)、3日(土) 午前9時～正午

参加費 各回500円

対象

8月1日(木) 高校生・一般
2日(金) 3歳児～小学2年生
3日(土) 小学3年生～中学生

碌山美術館「彫塑制作I」

全身像または胸像の制作と石膏取りまで行います。

日時 8月4日(日)～12日(月)

(水曜日を除く) 午前9時～午後5時

参加費 6000円(モデル代含む)

定員 10人

講師 柳沢 廣さん

申し込み 碌山美術館



研成ホール「彫塑制作II」

人物の頭部または胸像の制作と石膏取りまで行います。

日時 8月29日、9月5日、12日、19日

26日(毎週木曜日) 午後1時～4時

および10月3日(木)～5日(土)の午前9時～午後5時

参加費 5500円(モデル代含む)

定員 10人

講師 細萱 美穂さん

申し込み 研成ホール

《美術講座共通事項》

場所 碌山公園研成ホール 研修室II

「夏休み特別企画 中央図書館映画上映会」

中央図書館
TEL 84・0111 FAX 84・0116

日時 8月17日(土)

午後1時30分～

開場午後1時

場所 穂高交流学习センター

多目的交流ホール

定員 先着200人

※事前申し込みは必要ありません。

内容 ムーミン2話「おばけ島へようこそ」「ニョロニョロの秘密」(上映時間各25分)



イン会を行います。



長谷川義史さん(絵本作家)



小学校の教科書でも取り上げられた「いろはにほへと」 絵 長谷川義史さん

図書館ボランティア等育成研修会を開催

中央図書館
TEL 84・0111 FAX 84・0116

読み聞かせのボランティアや読書会を開催します。

日時 8月30日(金)

おすすめの1冊

「美術史の残照」

―碌山と安曇の周辺―

北野 進 著



紹介する人 丸山英二さん(豊科・新田)

この書では碌山と山本安曇、相馬黒光(星良)との関係を山本安曇と許嫁の戸沢郁に宛てた書簡を通して、碌山作「女」の塑像を安曇が鍍金に完成させた経緯とともに理路整然と解説しています。「女」の鑄造は碌山の兄から安曇が制作を依頼され、石膏原型の台座に「碌山作安曇鑄」をへら彫った。一方黒光は碌山の絶作となった「女」の粘土像を碌山の死後碌山のアトリエで「凝視してこれは私自身だと直覚され云々」と黒光が記述していますが、碌山はそういう個人的な感情を超越した女性の理想像を「女」に求めたのではないのでしょうか。碌山は黒光に出会い、相馬家へ黒光が持参した「亀戸風景」が彫刻家を目指す出発点となりました。ロダンに師事した高村光太郎は文筆で碌山は塑像で日本にロダンを紹介したと記述しています。碌山の最後は、ロダンにとらわれない独自の塑像を制作する矢先の突然の死でした。萩原守衛少年(碌山)の黒光との出会いから余りにも短い一生で、32歳でした。

再発見! 安曇野の文化 その20

文化課文化財保護係
TEL 62・3090 FAX 62・3525

満願寺の地獄極楽変相之図

(穂高牧 満願寺)

穂高牧の満願寺の本堂には、「地獄極楽変相之図」が掲げられています。人が亡くなった後に三途の川を渡り、閻魔様の裁判を受けて、地獄や極楽などの世界へ生まれ変わるまでのストーリーが表現されています。これは昭和28年に描かれました。生前に正しい行いをするように勧めるためのものですが、幼いころ見て怖い思いをした人もいます。

現在、豊科郷土博物館で、夏季特別展「あの世展」安曇野から旅立つ四十九日」を開催中です。この絵図同様、人の死後の旅を再現する展覧会です。こちらでもご覧下さい。



地獄極楽変相之図